

## R. F. 英語英文学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

高校の時、初めてニュージーランドに留学したのがきっかけです。幼稚園の頃から高校まで英会話教室に通っており、常に英語に触れている状態でした。小さい時から英語を話すのが好きで、高校 1 年の時、学校の制度を利用し、ニュージーランドに短期留学をしました。初めて海外の高校で勉強し、日本で通う英会話教室との違いや自分の英語力の無さに気づくことができました。また、短期では物足りなさも感じたので、大学で必ず長期留学をしようと思いました。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

とにかく ILETS の勉強ばかりしていました。学校で行われる TOELF-ITP ではなかなか留学に必要な点数が取れず、また年に数回とチャンスが少ないため IELTS で点数を取るしかないと思っていました。TOEFL-iBT を選択しなかった理由は、単純に IELTS に比べてテスト時間が長いのとすべてパソコンで行うという点が自分に合わないと思ったからです。教材は、解説が多いものを常に選んでいました。また、IELTS の特徴はリスニングがブリティッシュイングリッシュなところです。普段アメリカンイングリッシュの方が聞き慣れていたのが大変でした。しかし、ちょうど 2 年次のリスニングの授業の課題で映画のディクテーションを毎週していたのですが、たまたまブリティッシュイングリッシュでした。そこでかなりリスニング力が上がりました。リーディングは、専門的な文章が多いのでネットで検索し、自分の興味のない話題のものを英語でわざと読み、知識をつけるようにしました。ライティングは教材通りにやっていました。案外フォーマットが決まっているのでとにかく数をこなしていました。スピーキングは、どうしても学校のスピーキングの授業のみしか話す機会がなかったので練習方法を見つけるのに苦労しました。私の場合は、協定留学に行くまでに大学に入ってから 2 回短期留学をしています。そこで英語漬けの生活をして、帰国し、IELTS を受講するといった流れでやっていました。短期留学をした方がいいとは言いきれませんが、スピーキングのスコアに悩んでいるのであれば、1 週間であっても英語にずっと触れることができる環境を探すなどしてみれば良いと思います。自分も 1 か月の短期留学で英語力が向上したとは思いません。その代わりに、自分の英語力に自信がつかしました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

留学決定時から出発までの英語の勉強は、学校の課題が割と多かったので特にプラスアルファではしていません。与えられた課題をきちんとこなせば英語力の低下はないと思います。ビザ申請手続きに関しては、自分ではできないと判断したので、初めの約半年間通う語学学校の手続きをした留学会社さんにすべてお任せしました。なので、私は送っていた書類に記入し、また留学会社さんに送るといって繰り返していただいただけです。

#### ④ 現地到着後

到着してからホームステイの家までの移動は日本から手配していました。たぶん、送迎はどこかの留学会社さんにもあると思います。荷物も多いですし、長時間のフライトで時差ボケも体力的にも疲れていたのが有料ではありますが、送迎のシステムを利用することをお勧めします。

#### ⑤ 語学研修期間

##### ◆語学研修先の施設・環境について

##### ◆授業内容、課題、試験

私はサンディエゴの ELS に 20 週間通っていました。まず、サンディエゴに選んだ理由は次に行く大学が東海岸にあるので西海岸で勉強したいという想いと、日本人率です。サンディエゴはたぶん西海岸を想像したときには出ない場所だと思います。ロサンゼルスやサンフランシスコの方が聞きなじみがあるからだと思います。しかし、裏を返せばそういった聞きなじみのある場所にはやっぱり日本人が多いです。日本人が多い環境で勉強したくなかったのが、サンディエゴの ELS を調べると割と日本人率が低かったです。ELS はダウンタウン内にあるのでランチに行ったり、授業後にカフェに行ったりしました。また、金曜日は午前中までの授業なので午後は電車やバスを使いクラスメートとビーチに行ったりしていました。ELS 内の環境は、ビルのワンフロアのみが教室なので大学付属の語学学校と比べるとかなり小さいです。カフェも一応ありますが小さいので、行きたいときはダウンタウン内のものを利用していました。授業は、必須である大学進学コースを受講していました。ELS は 12 個のクラスがあり、初日にテストをし、クラス分けされます。1 か月に 1 回大きいテストがあり、それで合格すれば上のクラスに上がれます。授業はクラスが上がるごとにリサーチペーパーがあったり、ディスカッションのクラスのトピックがアカデミックになったりと、レベルも上がっていきます。正直、この語学学校の授業や、課題は本当に大変でしたが、この 5 か月で自分でも実感できるくらい英語力はかなり向上しました。

#### ⑥ 正規科目履修期間

##### ◆大学の施設・環境について

大学の設備は整っていたと思います。田舎の街に大学があるので、スーパーに行くのにも一苦労です。ダウンタウンも小さくて特に何もありません。なので、勉強に集中するには最適ですが、息抜きは自分で考えて方法を見つけた方がいいと思います。

##### ◆履修科目

##### ◆授業、レポート、定期試験

- ・MBC101: Introduction to Mary Baldwin College

必修です。MBC のことについて学びます。フィールドトリップもあって楽しめる授業です。課題は全く多くありません。次の授業までに資料を読んだり、ペーパーを書いたりするくらいです。最後はプレゼンテーションがファイナルテストでした。

- ・INT130: Introduction to American Culture

必修です。基本的なアメリカの文化を学びます。これも MBC101 と似ています。教授も同じで、プレゼンテーションをしたり、ペーパーを書いたりしました。

• **ENG103: Introduction to Second Language**

必修です。語学学校で習ったものと一緒でした。だからこの授業に関しては選択可能にしていたかたかったです。ペーパーの書き方を主に勉強します。課題はエッセイを書くのみです。テストは授業内で行われるエッセイのみなので、授業と課題をやっておけば大丈夫です。

• **COMM100: Public Speaking**

これは受講自由です。プレゼンテーションをたくさんしました。この授業は本当に大変でしたが、人前で話すということに慣れることができました。現地の学生と共に受講するのですごくマイノリティですが、生徒がみんな優しく、教授も協力的なので楽しかったです。

• **SOWK153: Introduction to Social Work**

もともとボランティアに興味があり、受講しようと決めました。毎週クイズがあり、教科書もたくさん読まないといけません。ペーパーもあります。とにかくしんどいです。なので、本当にソーシャルワークを学びたいと強く思っていないのであれば受講しない方がいいと思います。あまり興味がないことにここまで時間を費やすのはしんどいと思います。

• **SPAN101: Beginning Spanish I**

サンディエゴにいた時にスペイン語が飛び交っていたのがきっかけで受講しました。週 4 回もあって課題も毎回でますし、毎週クイズもあり、大変ではありましたが、集中的にすることはいいと思いました。英語で学ぶ方がスペイン語と英語が似ているので上達は早い気がします。周りの生徒は高校で習ったことがあったり、初心者はいませんでした。でも自分の努力次第でついていけると思います。もっとスペイン語が学びたいなと思える授業でした。

• **PHE171: Tennis (P2)**

運動が好きなので受講しました。週 2 回だけなので物足りなさもあるくらいです、でも、自由にテニスコートを使用してもいいので夜、友達とテニスをしたりと、勉強のいい息抜きができました。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

ソーシャルワークの授業で 1 回ボランティアする機会があったので参加してみました。施設に行き、ご飯を配膳しました。そこにいた女の子がボランティアしていたみんなにハグしていた時は、やりがいを感じることができました。また、サンディエゴでもボランティアがしたくて帰国延長しました。アフリカンアメリカンの人たちと触れ合ったり、子供たちとガーデニングをしたりと日本ではできないようないい経験ができました。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

サンディエゴ（2 か月間）：ホームステイ。留学機関に任せました。通学時間は電車で 40 分くらい。食事は特に問題なかったです。

サンディエゴ（3 か月間）：ダウンタウン内のアパート暮らし。通学時間が長すぎたのと、ホストシスターの子守を任されるが多かったのでアパート暮らしに変更しました。通学時間は徒歩 10 分。家事はしないといけません、勉強時間が増え、効率が良かったと思います。

MBC：寮生活。食事は思っていたよりおいしかったです。アメリカの食堂のご飯のイメージは映画の中やドラマの影響があっただけ、ひどいものだと思っておりましたが普通においしかったです。寮の部屋はそんなに大きくないですが、あまり気になりませんでした。

### ⑨長期休暇の過ごし方

語学学校が終わってから大学に行くまで 2 週間くらいの休暇は、メキシコやニューヨークに行きました。大学に行ってからフォールブレイクはワシントン D.C. に行き、サンクスギビングはフレンドシップファミリーといって留学生 1 人ずつにつくファミリーと伝統的なサンクスギビングを過ごしました。

### ⑩留学期間中の就職活動の取り組み

正直就活のことは何もしていませんでした。まわりの友達はインターンに参加したり、焦りはありましたが留学中は留学のことだけ考えようと決めました。帰国してから頑張ろうと思っていただけでした。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

語学学校：いろいろな国籍の人と勉強して、話すという何気ない毎日が楽しかったです。みんなの母国語を学んだり、放課後一緒に遊んだり、普通の日々が本当に楽しかったです。

MBC：ルームメイトと夜中に話すことです。初めの頃はお互いのことを知った過ぎて毎晩 2 時間話し込んで、笑っていました。本当にいい子が気合って、またそのルームメイトの友達もいい子ばかりで、朝ご飯を一緒に食べたりしました。ルームメイトには恵まれていたと思います。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

語学学校：語学学校中は特につらいことはなかったです。苦労したことは、シャイでなくなることです。日本では特に自分のことをシャイだとは思っていませんでしたが、世界的にみると日本人はほぼ全員シャイだと言われました。なので、授業中に話している途中であっても分からないことがあったら聞くようにしたり、発言したり努力しました。

MBC：差別されたことがつらかったです。日本人 3 人で食堂で夕食を食べていた時に黒人に写真を撮られ、笑われました。本当にショックでしたし、イライラしました。ルームメイトも黒人で、このことを相談し親身になって考えてくれました。そのおかげで、まだ気分もましになりました。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

黒人の英語が聞き取りづらく、アジア系アメリカ人に黒人の英語はなぜ訛っているように

聞こえるのかと聞いた時に、その子には違いが分からないと言っていたことです。日本人の友達も、聞き取りづらいと言っていたのでみんなで驚きました。

### Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

#### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点：現地のアメリカ人と勉強でき、友達になれたこと。ダウンタウンでは、みんなが知っているようなお店はありませんが、地元のお店が見られて毎回発見があります。悪かった点：サンディエゴからスタントンに来たのでどうしても差が見えてしまいました。ダウンタウンも小さいですし、天候も違います。人も東海岸の方が冷たく感じました。なので、初めの頃はサンディエゴシックになりました。

#### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの（パソコン持参の有無も含めて）

パソコン、電子辞書、うがい薬。常備薬は必須ですが、うがい薬は風邪ひくことが多かったので割と役に立ちました。また、私のように最初に語学学校に行く場合は服はあまり持っていかないほうがいいです。ほしいものが多すぎて帰りの荷物がパンパンになりました。

#### ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

留学して3か月目でリスニング力が上がったと感じました。そのころから寝ている時みる夢が英語に変わってきました。それは英語脳になっている証拠だと先生が言っていました。日本語の文法もおかしくなったり、言葉が出てこなくなることが多々ありました。今では洋画は完璧ではありませんが字幕なしで理解できます。

#### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

とにかく留学がしたいという強い意志があれば、それに対する努力はつらく感じないと思います。ただ英語力向上のために留学するのではなく、ほかに目標を決めるといいと思います。留学すると英語力はもちろん伸びます。でもそれ以外に何をしたいかを考えるとより成長できる気がします。留学は一生で全員ができるものではないですし、大人になってからではしたいと思っても時間がありません。今がチャンスだと思って留学の切符を手に入れられるように頑張ってください。

### Ⅳ. 将来の目標

#### ① 今後の進路、将来の目標・夢

今後は海外に発展している企業や、海外と関わりの持てる仕事がしたいと考えています。留学を通して日本のすばらしさに再度気づくことができました。だから、それを海外に伝えたいと思うようになりました。就職活動が終われば、趣味としてスペイン語をもっとしっかり学びたいです。中途半端な感じで終えてしまったのもう一度しっかり勉強したいです。

## V. 写真



これは語学学校の時のクラスメートです。後5人くらいいるのですが、外でライティングの授業をしたときに記念に撮りました。このときは日本人1人であとは全員アラビック系でした。みんな本当に優しく、日本語も話さないなのでこのときの英語力は本当に高かったと思います。



これはジュニアダッズというMBCのイベントにルームメイトと参加した時の写真です。ジュニアが全員参加できるパーティーで、カレッジリングも購入しました。ルームメイトはジュニアではないのですが、招待して一緒に参加してもらいました。これはルームメイトとのいい思い出です。

## K. U. 英語英文学科・3 年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

高校生の時 2 週間の語学留学に行ったことがきっかけです。自分の母国語とは違う人とコミュニケーションを取ることができることに感動しました。大学生になったら絶対に留学すると決めていました。協定留学なら留学先での学費を免除していただけるので協定留学を目指しました。

#### ② 留学を目指してから出願までの英語学習方法

留学を意識したのは同志社女子大学に入学してすぐですが、出願するためのスコアが足りませんでした。一年時に留学の情報を集め始めましたが、留学に向けて勉強し始めたのは二年生の夏でした。国際交流センター主催の TOEFL CAMP に参加しました。そこで、同じ目標の友達や全力でサポートしてくださる先生方に出会いました。また、同志社女子大学で行われていた IELTS の講座も行くようにしました。勉強は得意ではなかったので、留学説明会や、国際交流センター、英語学習支援の学内講座に積極的に出席して自分のモチベーションを上げて勉強しました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

語学学校の開始時期が他の友達よりも遅かったので準備期間は長くあったはずですが、予防注射やビザ申請手続きには時間がかかりました。ビザは自分で申請した為、申請のための書類作成や書類を集めることにも時間がかかりました。また、語学学校を自分で探さなければならなかったのがインターネットからたくさんの語学学校から自分の行きたい学校を探ることが大変でした。他の時間は全て留学のための資金を貯めるために使いました。

#### ④ 現地到着後

語学学校：日本出国前にメールでホストマザーとコミュニケーションを取っていました。空港にはホストマザーが迎えにきてくれました。オリエンテーションは 1 週間くらいで現地での過ごし方、学校の制度などの説明を受けました。またレベル分けのテストもオリエンテーション期間に受けました。どのオリエンテーションも午前中には終わりました。

MBC：留学生を担当している先生が迎えに来てくれました。事前に出発便、到着時間をメールで伝えていました。オリエンテーションは MBC の 1 回生と一緒に受けました。1 週間ほどで、学校の制度、授業の受け方などの説明を受けたり、学校になれるためのイベントがたくさんありました（映画をみたり、ダンスをしたり）

#### ⑤ 語学研修期間

##### ◆語学研修先の施設・環境について

San Diego State University American Language Institution

サンディエゴ州立大学付属の語学学校です。インターネットを使い語学学校を探し、入学手続きしました。大学付属の学校なので大学の施設を使えたり、トロリーの割引を受けた

りすることが出来ました。MBC はアメリカの東海岸側にあるので、語学学校は西海岸の地域に行ってみたかったのが SDSU の語学学校を選んだ理由です。

#### ◆授業内容、課題、試験

Reading、Grammar、Writing、Speaking、Listening の課外授業があります。それぞれのレベルに合わせて授業を受けます。授業の難易度はクラスのレベルによります。授業は午後 2 時までには終わるので難しくても十分、放課後に次の授業に向けて準備することが出来ると思います。放課後には HW の理解を助けてくれる講座や発音の講座が開かれています。わたしの場合は授業の難易度というよりも日本人のいない環境で授業を受けることが初めての環境でその中でプレゼンテーションをしたり発言をしたりする緊張感の方に悩まされました。

#### ⑥ 正規科目履修期間

##### ◆大学の施設・環境について

MBC はワシントン DC から車で 2 時間のバージニア州にあります。自分が想像していたよりも田舎でした。バスは一時間に一本あります。買い物に行くのは一時間くらいかかります。MBC から出るのは大変でしたが、MBC でたくさんイベントがあったので助かりました。寮のごはんは想像していたよりもおいしいです。私たちはたまに日本料理を作ったりしました。MBC にはジムもありよく利用しました。また週に 2 回ズンバのクラス（参加自由）がありそれもよい気分転換になったのでお勧めです。

##### ◆履修科目

###### ・MBC100

必修科目です。アメリカで学ぶ上での大切な文化や行事についても学びました。また、MBC 学生であるための規律や MBC の歴史、バージニアについての歴史も学びました。世界遺産のモンティチェロにみんなで行ったり、MBC 周辺の歴史ある場所に行ったりします。

###### ・ENG103

必修科目です。主にライティングの授業です。留学生しかいないです。息抜きになるような易しい授業です。

###### ・COMM100

主にスピーキングの授業です。どのように公共の場で話せば効率よく相手に伝わるかを学びます。スピーキングだけでなくレポートも、教科書からのクイズもあります。即興でスピーチをしたり、話す力がつく授業になります。

###### ・American culture

アメリカの文化を学びます。大統領選挙が近かったので、政治についても学びました。また男女差別、フェミニズム、人種差別などの問題に対しても学ぶことができます。

###### ・JPN 211

アシスタントをしました。週に一度、日本語の授業を受講している生徒のために授業でわからないところを復習するためのクラスを開きます。また、週に一度日本人留学生とアメ

リカ人（日本語クラス受講者）とコミュニケーションが図れるようお昼ごはんを食べます。

・ **SOWK 153**

アカデミックの授業です。ソーシャルワーカーになるための基礎知識を学びます。レポート、クイズ、課題が多いです。私は、語学学校でのボランティア活動をしてこの授業に興味を持ちました。この授業からアメリカの現状や弱者の実態を学ぶことが出来ます。

・ **PHE 100**

同志社女子大学で受ける体育のイメージとは違います。レポート提出、リサーチレポートの提出とペーパーの課題が多いです。また、どのような食生活や運動が健康にいいのか毎週違ったテーマで生徒が自分にあった方法を見つけていくような授業です。(ヨガ、ダンス、ウォーキング等)

・ **PHE 103A**

乗馬の授業です。課外授業で、MBC とは違った場所で授業を行います。お金はかかりますが、貴重な体験をすることができたなと思います。この授業もレポート、毎回の授業のジャーナルの提出が必要です。

⑦ **クラブ、課外活動、ボランティア活動**

MBC ではインターナショナルクラブがあり、留学生全員が入ることが出来ます。(オリエンテーション時からインターナショナルクラブのメンバーの人たちが手伝ってくれるので入部にかかわらず顔を合わせると思います) このクラブで友達がたくさんできると思います。

MBC ではボランティア活動もしました。有機栽培のガーデニングのお手伝いですが、現地の方と関わりを持てるのが良かったです。

⑧ **現地での住まい（語学研修期間、正規科目履修期間）について**

語学留学中：

ホームステイでした。食事は 1 日 1 回（夜）ホストマザーが作ってくれました。ホストマザーが仕事で忙しい時は自分で作りました。通学時間は 1 時間です。

MBC の寮：

寮の部屋はアメリカ人のルームメイトとのシェアです。シャワールームは人が一人ちょうど入るくらいのカプセル型のもので、お湯はすぐには出ません。でも毎週掃除をしてくださるので汚い等の印象はないです。食事はだいたいダイニングホールで食べますが想像よりもおいしいです。私はスーパーで醤油やポン酢を買って味付けをしていました。夏にはアイスクリームも食べられるので、食事には満足でした。ただ、脂っこいものがあまり好きでない方は大変だろうなと思います。

⑨ **長期休暇の過ごし方**

特に心配しなくても、インターナショナルクラブの友達や、週末のみのファミリー（MBC から紹介）が長期休暇の過ごし方の提案をしてくれます。秋休み、サンクスギビング休暇どちらも友達の家で過ごしました。

## ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

マイナビに登録しました。自己分析をすればよかったと思います。帰国してから企業分析などを始めました。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

MBC の生活で楽しかったことは、日々の生活にイベントがあったことです。夜に芝生の上で映画を観たりしました。自分が想像していたより田舎だったけど、自分たちで MBC の周りを散策したり、バスを使ってスーパーに行ったりすることで、勉強からのストレスを発散していました。また、毎週あったズンバのクラスがとても息抜きになりました。英語を話さなくてもダンスと一緒にする時間を共有することがきっかけで会話が始まって友達になったりもします。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦勞したこと

勉強などは自分がどれだけ時間を費やすかで解決することがあるかと思いますが、友人関係は違います。特に、日本に興味のない人と仲良くなることは私にとって難しかったです。日本人の友達と一緒にいる時にまったく知らない人たちから写真を取られたりしました。ただ、そういう心無い人がいることは事実でしたが、心優しい人もいることも確かです。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

バスの中で他の座席に足をのせたりすること。（彼らには当たり前なんだと思います）MBC の学生は差別問題について考えたり、時事問題について考えたり、自分の考えを持っていることが魅力だと思います。授業でもこれらについてはよく触れられました。

## III. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

想像していたよりも施設がきれいでした。びっくりした点は MBC からどこかに出かけることが大変なことです。また MBC は同女からの生徒に慣れているので安心します。

### ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

キレイめな服を一着持っていくと便利です。3 回ほど着る機会がありました。ポン酢やお米、醤油などは日本から持って行かなくても現地のスーパーにあります。みりんや本だしを持っていくといいかもしれません。（日本語クラブでも日本食を作ったりしました）

### ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力の向上は実感ないです。今まであまり話す機会がありませんでした。それがアメリカに来て話す機会が増えたので話す力はつくと思います。私と一緒にいった同女の学生は私よりも日本にいた時から語彙力が確実にありました。その方たちはアメリカでも話せるようになるまでの過程とその後の伸びがすごいなあと感じました。

### ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

私は賢いわけでもないし富裕層でもありません。留学へのエントリーに必要な TOEFL の最低値で留学しました。アルバイトをたくさんしたし奨学金制度も使いました。だからきっと留学したいと思っている同女の学生さんは留学できると思います。ただ、留学したいと思ってからとエントリー時期と留学時期がそれぞれ違うので計画をたててスコア取得とアルバイトを頑張ってください！

#### IV. 将来の目標

##### ① 今後の進路、将来の目標・夢

将来はグローバルに働ける会社に勤めたいです。

#### V. 写真



語学学校の友達とお別れ旅行に行きました。バスでサンディエゴから 6 時間ほどです。  
語学学校の魅力は国籍豊かな人たちと出会えることです。



MBC の 3 年生の人たちと一緒に出了パーティです。カレッジリングを親からもらうセレモニーです。